

2018年秋期(第163回)講演大会記録

2018年秋期講演大会は、9月19日(水)から21日(金)の期間、東北大学川内北キャンパスおよび仙台国際センターにおいて開催した。

9月19日 9:00～9:40 (水) 開会の辞、各賞贈呈式(川内北キャンパス講義棟C棟C200)

10:00～17:00 一般講演、公募シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション、企画シンポジウム(川内北キャンパス講義棟B棟およびC棟18会場)

15:00～16:00 高校生ポスターセッション(仙台国際センター展示棟展示室1)

15:00～17:00 ポスターセッション(仙台国際センター展示棟展示室1)

18:30～20:30 懇親会(ホテルメトロポリタン仙台)

9月20日 9:00～17:45 (木) 一般講演、公募シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション、企画シンポジウム(川内北キャンパス講義棟B棟およびC棟18会場)

9月21日 9:00～16:35 (金) 一般講演、公募シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション(川内北キャンパス講義棟B棟およびC棟18会場)

9月19日～9月21日 総合受付(川内北キャンパス講義棟B棟2階)
付設機器・カタログ展示会(川内北キャンパス講義棟C棟1階)
World Materials Day Award 展示(川内北キャンパス講義棟B棟2階)

開会の辞(9月19日)

貝沼亮介実行委員長より開会の挨拶があった。
続いて、杉本 聡会長の式辞に続き、下記の贈呈式を行った。



貝沼実行委員長の挨拶。

杉本会長の開会の挨拶。

贈呈式(9月19日)

第16回学術貢献賞贈呈式 10名に対し賞状贈呈。
(受賞者; 本誌527頁)

第41回技術開発賞贈呈式 8件48名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。
(受賞者; 本誌529頁)

第16回功労賞贈呈式 2名(学術部門2名)に対し賞状贈呈。
(受賞者; 本誌533頁)

第28回奨励賞贈呈式 6名(物性部門1名, 組織部門1名, 力学特性部門1名, 材料化学部門1名, 材料プロセス部門1名, 工業材料部門1名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈。
(受賞者; 本誌533頁)

第8回まてりあ論文賞贈呈式 2編5名に対し賞状贈呈。
(受賞者; 本誌535頁)

第8回まてりあ啓発・教育賞贈呈式 1編1名に対し賞状贈呈。
(受賞者; 本誌535頁)

第15回村上記念賞贈呈式 1名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。
(受賞者; 本誌536頁)

第15回村上奨励賞贈呈式 4名に対し賞状ならびに賞金贈呈。
(受賞者; 本誌536頁)

第66回論文賞贈呈式 6編21名(物性部門1編, 組織部門2編, 材料化学部門1編, 材料プロセス部門1編, 工業材料部門1

編)に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌537頁)
第29回若手講演論文賞贈呈式 3編3名に対し賞状贈呈。
(受賞者; 本誌539頁)



～受賞者の皆様おめでとうございます。～

日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会(9月19日)

日時: 9月19日(水)18時30分～20時30分
場所: ホテルメトロポリタン仙台 4階 千代(仙台市青葉区中央1-1-1)
参加者: 219名(本会への申込者・招待者124名)

開会の辞・司会	東北大学教授 吉見享祐
大会実行委員長挨拶	東北大学教授 貝沼亮介
来賓挨拶	東北大学総長 大野英男
共催代表挨拶	東北大学工学部長・工学研究科長 長坂徹也
日本金属学会会長挨拶	東北大学教授 杉本 諭
日本鉄鋼協会会長挨拶・乾杯	大阪大学工学部長・工学研究科長 田中敏宏
懇 談	
余 興	～仙台すずめ踊り～
閉会の辞	東北大学理事・副学長 原 信義



来賓挨拶: 大野英男総長。仙台名物 すらめ踊りでおもてなし。
はらこめしと地酒。

大会参加者

1,655名(一般811名 学生578名 非会員119名(一般87名 学生32名), 相互聴講147名)

学術講演会(9月19日～21日)

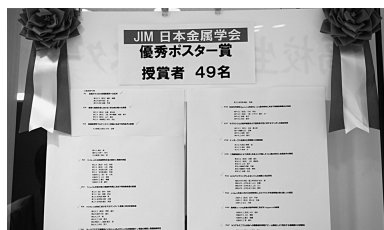
最終講演件数 1,037件
欠講1件(講演番号: 一般講演 No. 402)
公募シンポジウム講演9テーマ206題(外国人特別講演1題, 奨励賞受賞講演2題, 村上奨励賞受賞講演2題, 基調講演58題含む)
企画シンポジウム 10題
一般講演508題(奨励賞受賞講演4題, 技術開発賞受賞講演8題, 功労賞受賞講演2題, 学術貢献賞受賞講演9題, 村上奨励賞受賞講演2題, 村上記念賞受賞講演1題含む)
共同セッション47題
ポスターセッション259題
高校生ポスター 7題
講演会場 19会場(A～R会場, ポスターセッション会場)

第31回ポスターセッション(9月19日)

9月19日15:00～17:00に仙台国際センター展示棟展示室にて259件のポスター発表が行われ, そのうち優秀ポスター賞にエ

ントリーおよび審査対象となっている224件の内容・発表について審査が行われた。ポスター発表件数は前秋期大会と並ぶ過去最多であった。多くの聴講者が来場し、ポスターセッション会場は大変盛況であった。

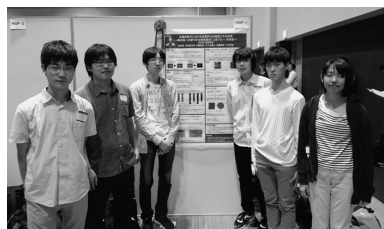
翌20日「優秀ポスター賞」49名が決定し、受賞者を本会ホームページおよび総合受付に掲載した。



～おめでとうございます！～

第1回高校・高専学生ポスターセッション(9月19日)

9月19日15:00～16:00の時間に仙台国際センター展示棟展示室にて7件のポスター発表および審査が行われた。審査結果は16:30に発表され、最優秀賞1件、優秀賞3件が選出された。今回初めての試みであったが、多くの来場者が興味深く高校生ポスターの内容を見たり、発表者へ質疑していた。



～高校生ポスターの部：仙台三高の皆様。～

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」30題(金属16題、鉄鋼14題)は9月19日～21日に鉄鋼協会第14会場で開催した。

「超微細粒組織制御の基礎」5題(金属5題、鉄鋼0題)は9月19日に金属学会B会場で開催した。

「マルテンサイト・ベイナイト変態の材料科学と応用」45題(金属26題、鉄鋼19題)は9月19日～21日に金属学会R会場で開催した。

付設機器・カタログ等展示会(第44回)

機器展示31社32小間、カタログ展示1社から出展の協力を得て、過去最多の出展数となった。各社のご好意に感謝いたします。

第6回企業ランチョンセミナー(9月20日)

昼休み時間帯に昼食(軽食)をとりながら、講演大会参加者に最新の技術情報を聴講いただく、ランチョンセミナーを開催した。

以下の5社が各5会場で30分程度のセミナーを行い、参加者数は5社で合計203名であった。参加者および参加企業共に好評であった。

(参加企業・団体：参加数)

オックスフォード・インストゥルメンツ(株)：34名

株TSLソリューションズ：46名

シュプリング・ネイチャー：48名



～ランチョンセミナーの様子。～

ヴァーダー・サイエンティフィック(株)：41名

東芝ナノアナリシス(株)：34名

託児室

9月21日(金)に子供1名に対してシッター2名体制で支障なく終了した。

第16回 World Materials Day Award

材料系国際学協会連携組織であるIOMMMS(International Organization of Materials, Metals and Minerals Societies)では、World Materials Dayを制定し、本年は2018年11月7日(水)に世界同時に、「材料に関する知識とその重要性を社会や若者に啓発する活動」に貢献があった学生を顕彰している。

第16回日本金属学会 World Materials Day Award 受賞者

(本誌：544頁)

Winner(優秀賞)第2部門 1件

「これぞ日本の伝統金属加工技術：木目金&煮色着色！」

千葉工業大学 清宮優作君、高橋駿君、高須信秀君、
滝口英介君、鈴木絵梨奈君、松下美羽君、蜷川晃介君、
細谷昌史君、南雲聡君、宮本将君、和田拓哉君

第2部門賞(1件)

「「ちゅうぞう」ってしていますか？」

愛知教育大学 唐田裕介君、脇本光君

第3部門賞(1件)

「金属の性質を“暗記する”から“理解する”へ～中学校では教えてくれない自由電子を添えて～」

仙台高等専門学校 吉田草太君、吉田梨那君

【大会雑記】

東北大学での講演大会は1997年(平成9年)以来21年ぶりの開催であった。2011年の東日本大震災以降、東北地区開催は初であったが、講演は1,000件を超える講演数となり、参加者は前秋期講演大会を上回り、2011年以降最も多い参加者数となった。

最終日こそ多少雨模様であったが、会期中は概ね晴天が続き、爽やかな初秋の空の下、講演大会が開催され、大変盛況裡に終了した。

本会の講演は東北大学川内北キャンパス講義棟の18会場で開催した。また、ポスターセッションは仙台国際センター展示棟にて行われた。会場は、地下鉄駅を出てすぐ目の前に講演会場である大学キャンパスおよび仙台国際センターがあったため、アクセス面でも大変便が良く、参加者にも大変好評であった。

懇親会はホテルメトロポリタン仙台で行われたが、地酒が振舞われたり、余興で仙台すずめ踊りが披露されるなど、参加者の歓談が一層盛り上がった。閉会しても歓談が続くなど盛況裡に終了した。

東北大学での日本金属学会講演大会開催に当たって、貝沼亮介実行委員長をはじめとする実行委員の皆様および東北大学マテリアル・開発系秘書室高久朋香様には準備当初より長期にわたり、大変なご努力とご配慮を頂き、そのご尽力により大会を盛況裡に運営することができました。お忙しい中を本会のために長期間を割き、諸般について万端のご協力を頂いた実行委員の方々をはじめアルバイト学生の皆様、大学関係者各位に対しまして、衷心より厚くお礼申し上げます。

また、今回共催して頂いた東北大学大学院工学研究科、環境科学研究科、金属材料研究所、多元物質科学研究所の関係者各位に対しても、衷心より厚くお礼申し上げます。

